

第二期兵庫県地域創生戦略
実施状況報告書
(令和4年度)

令和5年9月

兵庫 県

〈目 次〉

I	兵庫県地域創生戦略の概要	1
II	戦略目標の達成状況	3
III	実施状況（令和4年度）	
1	地域の元気づくり	4
	幅広い産業が元気な兵庫をつくる	
	内外との交流が活力を生む兵庫をつくる	
	豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる	
2	社会増対策	20
	自分らしく働ける兵庫をつくる	
3	自然増対策（子ども・子育て対策）	27
	結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる	
4	自然増対策（健康長寿対策）	33
	生涯元気に活躍できる兵庫をつくる	

I 兵庫県地域創生戦略の概要

【 理 念 】 五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる地域へ

【戦略の構成】

1 地域の元気づくり

戦略指標	重点目標	重点指標	主な項目	
<p>■一人当たり県内総生産(GDP)の伸び</p> <p>■住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合</p>	1 幅広い産業が元気な兵庫をつくる	<p>■製造品付加価値額</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代産業の創出 ・ものづくり産業の経営基盤・技術開発の促進 ・Society5.0を牽引する産業の集積促進 	
		<p>■対事業所サービス事業所数</p> <p>■企業立地件数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中小企業の経営基盤強化 ・地場産業の新たな展開への支援 ・商業業務機能の集積促進 	
		<p>■開業率</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・有望な起業家の成長支援 ・多様な主体による起業・創業の更なる支援 	
		<p>■農林水産業産出額</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の経営基盤の強化 ・収益性の高い林業の推進 ・水産業の経営強化 ・兵庫の農林水産物のブランド力強化 	
	2 内外との交流が活力を生む兵庫をつくる	<p>■県内観光入込客数</p> <p>■県内観光消費額</p> <p>■宿泊者数(延べ人数)</p>	<p>■来訪者満足度</p> <p>■リピーター率(再訪意向率)</p> <p>■一日当たり県内来訪者数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外からの誘客促進 ・国際ツーリズムの促進 ・観光客受入基盤の整備
				<ul style="list-style-type: none"> ・二地域居住・都市農村交流の促進 ・地域再生大作戦の展開 ・地域特性に応じた空き家等の有効活用
				<ul style="list-style-type: none"> ・交流を支える交通基盤の充実
	3 豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる	<p>■住んでいる地域は、芸術文化に接する機会があると思う人の割合</p>	<p>■住んでいる地域の自然環境は守られていると思う人の割合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化が身近に感じられる地域づくり ・にぎわいが感じられるまちづくりの推進 ・豊かな環境の保全と創造
		<p>■住んでいる地域が自然災害に対して「安全」「まあ安全」だと思う人の割合</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心に暮らせる福祉・医療の充実 ・防災・減災対策の総合的推進 ・地域生活を維持する革新的技術の普及促進
		<p>■英語力を有すると思われる生徒の割合</p> <p>■将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合</p> <p>■将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合</p>		<p>■住んでいる地域は、高齢者にも、障害のある人にも暮らしやすいと思う人の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次代を担う人材を育成する教育力の強化 ・全員活躍社会の構築 ・多文化共生社会の実現

2 社会増対策

戦略指標	重点目標	重点指標	主な項目
■日本人の転入超過数 ■20歳代前半の若者定着率 ■外国人の増加数	4 自分らしく働ける兵庫をつくる	■20～30歳代の若者の転入超過数(日本人) ■新たに農業・林業・漁業に就いた者の数	・県内就業意識の高揚 ・地元企業と若者とのマッチング強化 ・女性活躍の推進
			・第二新卒者等、若年層のUJIターンの支援 ・カムバックひょうごセンターを核とした移住・定住の促進
		■外国人材(専門的・技術的分野、特定技能、技能実習生)の受入数	・高度外国人材の受け入れ促進 ・外国人材の県内定着の促進

3 自然増対策(子ども・子育て対策)

戦略指標	重点目標	重点指標	主な項目
■合計特殊出生率 ■婚姻件数	5 結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる	■結婚願望がある者の割合	・出会い・結婚支援の充実
		■住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合	・妊娠・出産の不安解消 ・子育てや教育に係る負担の軽減
		■保育所等待機児童数 ■放課後児童クラブの待機児童数	・放課後等の居場所づくり ・子育て家庭を見守る地域づくり

4 自然増対策(健康長寿対策)

戦略指標	重点目標	重点指標	主な項目
■平均寿命と健康寿命の差 ■運動を継続している人の割合	6 生涯元気に活躍できる兵庫をつくる	■がんによる75歳未満の年齢調整死亡率 ■朝食を食べる人の割合	・疾病の予防・早期発見・早期治療の推進 ・生活習慣の改善促進
		■認知症相談医療機関の登録数の拡大	・認知症対策の推進 ・高齢者の地域生活を支える体制の強化
		■75歳以上人口に占める要介護認定率	・元気高齢者の社会参加の促進 ・定年退職後の高齢者の就業機会確保 ・高齢者の生涯学習支援

II 戦略目標の達成状況

目 標	実 績	
	令和4年	
1 地域の元気づくり ①国を上回る一人あたり県内総生産（GDP）の伸びを維持(H25比)	国を上回る伸びの維持	【実質】 ・国 105.1<県 110.3 【名目】 ・国 111.8>県 110.4
②住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合について毎年度前年を上回る	前年度(75.9%)を上回る	77.8%
2 社会増対策 ①2024年までに日本人社会減ゼロを目指す 日本人の転入超過数±0	▲1,068人	[▲5,990人 (▲7,033人) 上段：国内移動のみ (下段：国際移動含む) ※国勢調査結果が未公表のため、R4住民基本台帳人口移動報告
②20歳代の若者定着93.0%を目指す	92.6%	91.4%
③5年間で25,000人の外国人の増加を目指す	15,000人	[17,080人 ※国勢調査結果が未公表のため、R4住民基本台帳人口移動報告
3 自然増対策（子ども・子育て対策） ①2024年まで合計特殊出生率1.41を維持する	1.41	1.31
②結婚したいという希望を叶え、2024年に婚姻数27,000件を目指す	26,000件	20,844件
4 自然増対策（健康長寿） ①平均寿命と健康寿命の差を縮める 男性：1.40未満 女性：3.13未満	—	[参考：令和2年 男性：1.44 女性：3.16]
②運動を継続している人の割合を高める	64.4%	67.8%

※ K P I の評価は、目標値に対する実績値の達成率により「A」「B」「C」「D」に区分
 A:100%以上、B:90%以上100%未満、C:70%以上90%未満、D:70%未満

※R4 実績が未判明の指標は評価せず

	A		B		C		D		未判明		合計	
戦略指標	4項目	44.4%	2項目	22.2%	1項目	11.1%	1項目	11.1%	1項目	11.1%	9項目	100.0%
重点指標	6項目	19.4%	7項目	22.6%	4項目	12.9%	3項目	9.7%	11項目	35.5%	31項目	100.0%
政策アウトカム指標	22項目	27.8%	14項目	17.7%	14項目	17.7%	8項目	10.1%	21項目	26.6%	79項目	100.0%
合 計	32項目	26.9%	23項目	19.3%	19項目	16.0%	12項目	10.1%	33項目	27.7%	119項目	100.0%

Ⅲ 実施状況(令和4年度)

戦略1 地域の元気づくり(ひと・まち・産業 元気プログラム)

1 目標

- ①国を上回る一人当たり県内総生産(GDP)の伸びを維持する
- ②住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合について
毎年度、前年を上回る

2 達成状況

戦略指標		単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	県民一人当たり 県内総生産(GDP) の伸び	%	目標	—	国を上回る 伸びの維持	国を上回る 伸びの維持	国を上回る 伸びの維持
			実績	[実質] 国104.1 県105.4 [名目] 国109.4 県109.7	[実質] 国100.1 県102.1 [名目] 国105.9 県107.4	[実質] 国103.2 県107.0 [名目] 国109.0 県109.6	[実質] 国105.1 県110.3 [名目] 国111.8 県110.4
			評価	—	—/A	—/A	実質 —/A 名目 —/B
2	住んでいる地域 にこれからも住 み続けたいと思 う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	77.9	75.9	75.9	77.8
			評価	—	97.3%/B	99.9%/B	102.4%/A

※【目標値達成率に対する評価】

A : 100%以上、B : 90%以上 100%未満、C : 70%以上 90%未満、D : 70%未満

〈状況分析〉

- ・一人当たり名目 GDP の伸びは国を下回ったが、物価変動の影響を除いた実質 GDP の伸びは国を上回った。国と比較してシェアの高い製造業が堅調な伸びを示したことから、国を上回る実質 GDP の伸びとなっている。
- ・住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合は、昨年を 1.9 ポイント上回る 77.8%となった。

3 今後の取組方向

- 産業立地条例の改正による次世代産業の立地支援強化や、中小企業等の SDGs の取組促進など、兵庫経済の持続的成長に向けた支援を展開。また、「ひょうごフィールドパビリオン」等の推進により、兵庫の魅力を世界に発信し、交流人口の拡大を促進

【図表 県内総生産(実質GDP)の推移】

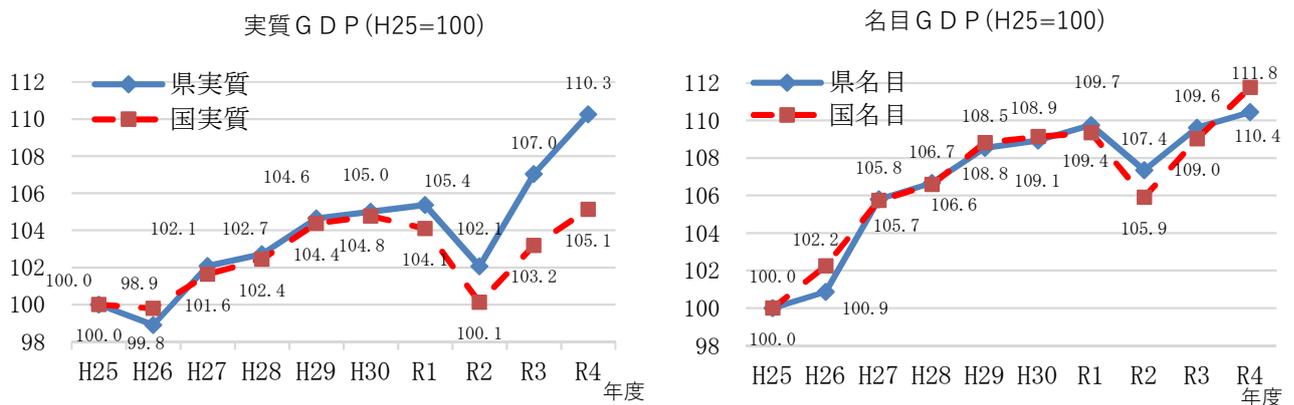
項目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
全国一人当たりGDP	418万円	417万円	424万円	428万円	436万円	438万円	435万円	418万円	431万円	439万円
<H25=100とした指数>	<100.0>	<99.8>	<101.6>	<102.4>	<104.4>	<104.8>	<104.1>	<100.1>	<103.2>	<105.1>
全国GDP(実質)	532.1兆円	530.2兆円	539.4兆円	543.5兆円	553.2兆円	554.5兆円	550.1兆円	527.4兆円	540.8兆円	548.5兆円
県一人当たりGDP	384万円	380万円	392万円	395万円	402万円	403万円	405万円	392万円	411万円	424万円
<H25=100とした指数>	<100.0>	<98.9>	<102.1>	<102.7>	<104.6>	<105.0>	<105.4>	<102.1>	<107.0>	<110.3>
県内総生産(GDP)(実質)	21.4兆円	21.1兆円	21.7兆円	21.8兆円	22.2兆円	22.2兆円	22.2兆円	21.4兆円	22.3兆円	22.9兆円

【図表 県内総生産(名目GDP)の推移】

項目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
全国一人当たりGDP	402万円	411万円	425万円	429万円	438万円	439万円	440万円	426万円	439万円	450万円
<H25=100とした指数>	<100.0>	<102.2>	<105.7>	<106.6>	<108.8>	<109.1>	<109.4>	<105.9>	<109.0>	<111.8>
全国GDP(名目)	512.7兆円	523.4兆円	540.7兆円	544.8兆円	555.7兆円	556.6兆円	556.8兆円	537.6兆円	550.5兆円	561.9兆円
県一人当たりGDP	370万円	374万円	392万円	395万円	402万円	404万円	407万円	398万円	406万円	409万円
<H25=100とした指数>	<100.0>	<100.9>	<105.8>	<106.7>	<108.5>	<108.9>	<109.7>	<107.4>	<109.6>	<110.4>
県内総生産(GDP)(名目)	20.6兆円	20.7兆円	21.7兆円	21.8兆円	22.2兆円	22.2兆円	22.3兆円	21.7兆円	22.1兆円	22.1兆円

注) 県実績については、平成25～令和2年度は県統計課「令和2年度兵庫県民経済計算」による確報値、令和3～4年度は県統計課「四半期別兵庫県内GDP速報」による速報値。全国実績については、平成25～令和3年度は「2021年度国民経済計算」による確報値、令和4年度は内閣府「四半期別GDP速報」による速報値。

【一人当たりGDPの伸び推移(平成25年度=100)】



重点目標 1 幅広い産業が元気な兵庫をつくる

重点指標		単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	開業率	全国 順位	目標	—	10位以内	10位以内	10位以内
			実績	9位 4.51%	11位 5.17%	11位 4.44%	(R5.10月)※1
			評価	—	99.2%/B (10位県 5.21%)	98.2%/B (10位県 4.52%)	—
2	企業立地件数 (H27～累計)	件	目標	—	1,094	1,281	1,468
			実績	894	1,051	1,262	1,419
			評価	—	96.1%/B	98.5%/B	96.7%/B
3	農林水産業産出額	億円	目標	—	2,571	2,619	2,635
			実績	2,588	2,528	2,489	(R6.3月)
			評価	—	98.3%/B	95.0%/B	—
4	製造品付加価値額	億円	目標	—	51,283	51,795	52,312
			実績	50,786	50,914	54,424	(R6.7月)
			評価	—	99.3%/B	105.1%/A	—
5	対事業所サービス 事業所数※2	社	目標	—	—	前回調査 を上回る	—
			実績	⑳1,085	—	1,036	—
			評価	—	—	95.5%/B	—

※1 該当年度において実績値が未判明のものについては判明時期を記載（以降、同様）

※2 対事業所サービス事業所数：情報サービス業、インターネット付随サービス業の合計

今後の取組方向

- 航空、ロボット、半導体、健康医療、水素をはじめとした次世代エネルギー等成長産業を重点支援し、産業競争力の強化を図る。
- 中小企業や地場産業のSDGsの取組に対する支援を強化し、持続可能な産業の創出を促進する。
- 多様な主体による起業・創業を促進するため、若者に対する起業家意識の醸成や、立ち上げ支援、販路拡大等、起業家育成環境を整備。スタートアップを全県的に育成し、公民連携の取組により社会課題・地域課題の解決を支援する。
- 農林水産業の基幹産業化を目指し、環境に配慮した農業や多様な人材の確保・育成、県産農林水産物の流通拡大に向けたブランド力強化等を推進する。

項目1 兵庫の強みを活かした産業競争力の強化

(1) 次世代産業の創出

事例	成長産業の重点支援
	<ul style="list-style-type: none"> 成長産業分野の事業拡大・新規参入を促進するため、産学官連携による本格的な研究開発への移行を目指す萌芽的な研究プロジェクトを支援する「成長産業育成のための研究開発支援事業（旧 COE プログラム）」を実施（R4：17 件採択） 「成長産業育成コンソーシアム」の枠組みを活用し、新製品の社会実装を目指す県内中小企業の試作開発を支援（R4：10 件採択） SPring-8、ニュースバル、富岳等の科学技術基盤の活用により、次世代電池・半導体の技術開発拠点の形成を促進し、関連産業の振興を図るため、関係機関の取組・成果を共有するとともに強化方策を議論するための「次世代電池・半導体技術開発拠点推進協議会」を開催



成長産業育成のための
研究開発支援事業
採択研究プロジェクト認定式

(2) ものづくり産業の経営基盤・技術開発の促進

事例	スマートものづくりセンターの設置
	<ul style="list-style-type: none"> 県下4カ所の「スマートものづくりセンター」において産官学連携による共同研究の促進や、先端共同利用機器を活用した中小企業等への技術指導・相談、AI・IoT・ロボットの普及支援等を実施（R4 共同研究：25 件、R4 技術相談・指導件数：291 件）



耐火煉瓦の自動選別積載ロボット
システムの立ち上げを支援

(3) Society5.0 を牽引する産業の集積促進

事例	デジタル人材の育成、IT事業所開設等の支援
	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫工業会と連携し、県内大学が開発した完全オンデマンド型のDX人材育成プログラムにより、県内企業のDX人材の育成を支援（R4 受講数：269 件） ①高度IT事業所、②ITカリスマによる事業所の開設を支援し、多様なIT起業家等の集積を促進（R2:12 件、R3:14 件、R4:10 件） <p>【高度IT事業所の開設支援例】 (株)テラアクソンパートナーズ AI技術を駆使し、オレオレ詐欺等の特殊詐欺に対する機械学習モデルおよび監視サービスを提供</p>



(株)テラアクソンパートナーズ
(現) (株)テラアクソン

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	中小企業等に対する 技術移転件数	件	目標	—	800	800	800
			実績	780	713	671	723
			評価	—	89.1%/C	83.9%/C	90.4%/B
2	県内本社企業の海外 現地法人売上高	億円	目標	—	32,955	33,943	34,962
			実績	32,853	31,123	37,645	(R6.8月)
			評価	—	94.4%/B	110.9%/A	—
3	県内本社企業の海外 展開数（累計）	社	目標	—	691	709	727
			実績	673	691	688	664
			評価	—	100.0%/A	97.0%/B	91.3%/B

項目2 地域産業の振興

(1) 地域の中小企業の経営基盤強化

事例	相談・助言等による中小企業支援
<ul style="list-style-type: none"> ・(公財) ひょうご産業活性化センターを中核機関とした県内19の支援機関と30の連携団体によるネットワークを構築。ワンストップで企業ニーズに対応する「中小企業支援ネットひょうご」により、中小企業を総合的に支援 ・中小企業の経営課題解決に取り組む中核人材の確保を促進するため、「ひょうご専門人材相談センター」を(公財)ひょうご産業活性化センターに設置し、民間の人材ビジネス事業者と連携しながら、中小企業と専門人材のマッチングを支援(マッチング件数R3:110件、R4:125件) ・地域の金融機関による事業者への伴走支援(経営改善計画の作成等)に補助を行い、金融機関と協調して中小企業の経営力強化を促進(R4:11,991事業者を支援) 	 <p>中小企業支援ネットひょうご</p>

(2) 地場産業の新たな展開への支援

事例	地場産業におけるSDGsの取組への支援
<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの視点から地場産業のブランド価値を高め、地場製品の魅力向上を図るため、SDGsの取組による商品開発やプロモーション活動など、産地組合によるSDGsへの取組を支援(R4:13件) 	 <p>スーパーマーケットトレードショー2023での県内企業のSDGs商品のPR</p>

(3) 商業業務機能の集積促進

事例	神戸三宮雲井通5丁目地区の再開発
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな交通結節拠点となる中・長距離バスターミナルに加え、商業機能、業務機能及び宿泊機能等からなる複合施設の整備に向け、県と神戸市による調整会議での意見交換や、再開発事業の支援を実施 ・令和元年度の市街地再開発事業の認可を経て令和9年度の完成に向けて事業を推進 	 <p>神戸三宮雲井通5丁目地区のイメージ</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	地場産業の生産額(主要産地)	億円	目標	—	2,700維持	2,700維持	1,900維持
			実績	2,382	1,840	(R6.1月)	(R7.1月)
			評価	—	68.1%/D	—	—
2	商店街活性化等によるしごと創出数(累計)	人	目標	—	95	190	285
			実績	122	76	166	236
			評価	—	80.0%/C	87.4%/C	82.8%/C

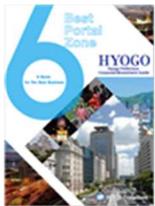
項目3 企業立地・投資の促進

(1) 雇用拡大につながる企業誘致の促進

事例	産業立地条例による企業誘致の促進
<ul style="list-style-type: none"> 産業の活性化と雇用の創出を図るため、産業立地条例に基づき補助金（設備・雇用・賃料）や税軽減（不動産取得税・法人事業税）により企業の県内立地を支援（R4補助企業数：延べ88社） 令和5年3月に同条例を改正し、水素をはじめとした成長産業への支援を拡充したほか、中小企業に対する設備補助の投資額要件を大幅に緩和 	 <p>「産業立地条例に基づく支援制度」リーフレット</p>

事例	首都圏企業誘致セミナーの開催
<ul style="list-style-type: none"> 万博を見据えた関西への投資に注目が集まる中、知事が直接、兵庫の魅力を発信する「首都圏企業誘致セミナー」を開催 「ひょうご・神戸投資サポートセンター」「兵庫県ビジネスサポートセンター・東京」でのワンストップ相談により、兵庫県への進出企業をサポート 	 <p>兵庫県首都圏企業誘致セミナー</p>

(2) 世界から選ばれる投資環境の整備

事例	外国・外資系企業立地の促進等、投資環境の整備
<ul style="list-style-type: none"> 最先端科学技術基盤や産業の集積、交通の利便性といった本県の立地優位性に加えて、産業立地条例に基づく国際経済地区への優遇措置により、外資系企業の立地を促進（外国・外資系立地件数 R3:131件、R4:145件） <p>【R4 進出事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> セラベストジャパン(株)（韓国）[医療用医薬品の研究開発、輸入、製造、販売] 半島チェーン工業(株)（韓国）[動力伝達装置部品の製造、販売] 	 <p>外資系企業立地促進パンフレット</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	企業立地件数（本社機能・事務所）（H27～累計）	件	目標	—	225	272	319
			実績	198	259	338	377
			評価	—	115.1%/A	124.3%/A	118.2%/A
2	企業立地件数（外国・外資系）（H27～累計）	件	目標	—	142	167	192
			実績	111	118	131	145
			評価	—	83.1%/C	78.4%/C	75.5%/C
3	企業立地件数（IT事業所）（H27～累計）	件	目標	—	64	76	88
			実績	40	52	65	74
			評価	—	81.3%/C	85.5%/C	84.1%/C
4	企業立地によるしごと創出数（本社機能・事務所）（H27～累計）	人	目標	—	1,646	1,920	2,194
			実績	1,783	2,290	2,917	3,504
			評価	—	139.1%/A	151.9%/A	159.7%/A

項目4 起業・創業の適地ひょうごの実現

(1) 有望な起業家の成長支援

事例	コワーキングスペースネットワーク会議の開催
<ul style="list-style-type: none"> 新たな価値の創出や事業拡大を図るため、コワーキングスペースを利用するスタートアップ同士が活発に意見交換を行う「コワーキングスペースネットワーク会議」を起業プラザひょうご（神戸・姫路・尼崎）を核に開催 	 <p>コワーキングスペースネットワーク会議</p>

事例	ひょうご TECH イノベーションプロジェクトの実施
<ul style="list-style-type: none"> イノベーションの創出と社会課題の解決を図るため、中小企業や社会課題解決型スタートアップ事業者が有する技術を、市町等が抱える地域課題とマッチングさせる取組を実施。6件の実証事業を支援 	 <p>6つの実証事業</p>

(2) 多様な主体による起業・創業の更なる支援

事例	若者への起業支援
<ul style="list-style-type: none"> イノベーションを自ら創出できる力を持ったグローバル人材を育成するため、4大学（神戸大学、県立大学、甲南大学、武庫川女子大学）と連携して「グローバル・アントレプレナー育成プログラム」を開講 起業を志す学生等がビジネスプランを競い合う「スタートアップチャレンジ甲子園」を大阪府と共同で開催 	 <p>令和4年度スタートアップチャレンジ甲子園</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	開業事業所数	件	目標	—	—	15,700	—
			実績	Ⓓ11,287	—	1,675	—
			評価	—	—	10.7%/D	—
2	開業事業所数（単独事業所）	件	目標	—	—	7,000	—
			実績	Ⓓ2,890	—	806	—
			評価	—	—	11.5%/D	—
3	開業事業所数（本所・本社・本店）	件	目標	—	—	1,600	—
			実績	Ⓓ891	—	85	—
			評価	—	—	5.3%/D	—
4	起業プラザひょうごの会員数（エリア拠点含）	人	目標	—	150	150	150
			実績	92	145	191	195
			評価	—	96.7%/B	127.3%/A	130.0%/A
5	コワーキングスペース開設件数（累計）	件	目標	—	27	35	43
			実績	19	28	34	38
			評価	—	103.7%/A	97.1%/B	88.4%/C

項目5 農林水産業の基幹産業化の推進

(1) 農業の経営基盤の強化

事例	スマート農業の推進	
<ul style="list-style-type: none"> 産地の課題や企業が有するスマート農業技術を集約し、情報を発信するプラットフォームをWeb上に構築。産地と企業のマッチングを進め、地域の課題解決や経営改善を図る取組を実施 農作業の省力化や労働環境の改善、農業経営の安定化を図るため、スマート農機、ほ場・経営管理ソフトの導入を支援 		 <p>環境モニタリング機器の実証 (南あわじ市)</p>

(2) 収益性の高い林業の推進

事例	主伐による原木の安定供給や再造林の推進	
<ul style="list-style-type: none"> 主伐による持続的な原木供給と、その後の再造林や保育を確実に実行するため、低コストで効率的な「主伐・再造林低コスト普及モデル」の構築に向け、施業にかかるコスト等のデータ収集・分析を実施 (R3:33ha、R4:31ha) 		 <p>主伐・再造林地 (宍粟市)</p>

(3) 水産業の経営強化

事例	養殖ノリのクレジット化に向けた検討	
<ul style="list-style-type: none"> 全国トップレベルの生産量を誇る養殖ノリのブルーカーボンとしての可能性を検討するとともに、生産過程のCO₂削減の取組の推進による脱炭素型の「兵庫ノリ」のブランディングを検討 		 <p>養殖ノリ現場視察</p>

(4) 兵庫の農林水産物のブランド力強化

事例	ひょうごの「農」「食」輸出拡大の促進	
<ul style="list-style-type: none"> 海外における日本食人気の広がり等を県産品の輸出を進める好機と捉え、香港、マレーシア、フランスをターゲットに、百貨店等でのテスト販売やバイヤー向け商談会の開催などのプロモーションを実施 (R3:27事業者・84品目、R4:26事業者・60品目) 		 <p>バイヤー向け商談 (フランス)</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考)	計画期間		
				R1	R2	R3	R4
1	農業産出額 (畜産産出額含まず)	億円	目標	—	1,005	961	967
			実績	940	886	866	(R6.3月)
			評価	—	88.2%/C	90.1%/B	—
2	畜産産出額	億円	目標	—	555	614	617
			実績	569	592	636	(R6.3月)
			評価	—	106.7%/A	103.6%/A	—
3	林業・木材産業産出額	億円	目標	—	590	594	596
			実績	594	562	575	(R6.2月)
			評価	—	95.3%/B	96.8%/B	—
4	漁業産出額	億円	目標	—	471	450	455
			実績	485	488	412	(R6.3月)
			評価	—	103.6%/A	91.6%/B	—
5	海外市場開拓数 (品目毎累計)	国・地域	目標	—	150	160	170
			実績	143	153	163	173
			評価	—	102.0%/A	101.9%/A	101.8%/A

重点目標 2 内外との交流が活力を生む兵庫をつくる

重点指標		単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	県内観光入込客数	万人	目標	—	14,500	14,800	15,300
			実績	13,651	7,832	8,565	(R5.9月)
			評価	—	54.0%/D	57.9%/D	—
2	県内観光消費額	億円	目標	—	14,200	14,700	15,200
			実績	13,114	6,821	8,232	(R5.9月)
			評価	—	48.0%/D	56.0%/D	—
3	宿泊者数(延べ人数)	万人	目標	—	1,450 うち外国人 165	1,500 うち外国人 190	1,550 うち外国人 210
			実績	1,442 うち外国人 [㊟] 137	898 うち外国人 18	879 うち外国人 5	1,254 うち外国人 12
			評価	—	61.9%/D 外国人 10.9%	58.6%/D 外国人 2.6%	80.9%/C 外国人 5.7%
4	来訪者満足度	%	目標	—	72	73	75
			実績	62.6	72.9	66.1	63.3
			評価	—	101.3%/A	90.5%/B	84.4%/C
5	リピーター率(再訪意向率)	%	目標	—	52	53	55
			実績	[㊟] 50.0	53.5	58.5	61.9
			評価	—	102.9%/A	110.4%/A	112.5%/A
6	一日当たり県内来訪者数	千人	目標	—	373	381	394
			実績	353	336	274	(R6.5月)
			評価	—	90.1%/B	72.0%/C	—

今後の取組方向

- 2025 大阪・関西万博に向け、フィールドパビリオンの磨き上げやプロモーションを展開するとともに、兵庫テロワール旅を基軸とした兵庫ブランドの確立やユニバーサルツーリズムを推進し、県内への誘客を促進する。
- 多自然地域における持続可能な生活圏形成に向け、県と市町による重層的な支援体制のもと、広域的な地域運営体制を構築する。
- 都市と多自然地域の近接という兵庫の強みを活かした都市農村交流の促進や、地域交流拠点としての空き家の利活用の促進など、地域特性に応じた支援を展開し、移住・定住・交流を推進する。

項目6 地域資源を活かした交流人口の拡大

(1) 県内外からの誘客促進

事例	「ひょうごフィールドパビリオン」等の展開		
	<ul style="list-style-type: none"> ・2023～2027年度を計画期間とする「ひょうご新観光戦略」を策定 ・「ひょうごフィールドパビリオン」を構成するSDGs体験型地域プログラムについて、全県から応募のあった113件を認定（第1次認定）。うち5件を地域の核となる「プレミア・プログラム」として認定 ・令和4年7～9月、兵庫デスティネーションキャンペーンプレキャンペーンを開催。「兵庫テロワール旅」をテーマに、食と文化のルーツを知る、食べる、体験する兵庫の旅を提案し、県内誘客を促進 	 <p>E-Bike ツアー (認定プログラム「Asago で暮らす旅～Travel like you live here～」)</p>	 <p>兵庫テロワール旅号</p>

(2) 国際ツーリズムの促進

事例	周遊・体験等コンテンツ開発		
	<ul style="list-style-type: none"> ・2025 年大阪・関西万博やインバウンドの再開を視野に、兵庫五国の文化・産業に根差した体験型着地コンテンツを造成 (R2:49 件、R3:32 件、R4 : 22 件) <p>【コンテンツ例】桔梗隼光鍛刀場で小刀造りを体験 相生市羅漢溪谷にある鍛刀場で、約 1000 年続く刀鍛冶の伝統的な作刀技術に触れ、実際に小刀造りを体験</p>	 <p>鍛刀場での小刀造り</p>	

(3) 観光客受入基盤の整備

事例	ユニバーサルツーリズムの推進		
	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく旅行できる兵庫の実現に向け、全国初のユニバーサルツーリズム推進条例を制定（令和5年4月1日施行） ・コンシェルジュの育成やおもてなし研修、トップセミナー等を開催し、観光地の受入体制の強化や機運醸成等を促進 	 <p>コンシェルジュ認定式</p>	

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	あいたい兵庫キャンペーン期間中の観光入込客数伸び率	%	目標	—	前年度比 110%	前年度比 110%	前年度比 110%
			実績	107.1	94.8	100.1	130.0
			評価	—	86.2%/C	91.0%/B	118.2%/A
2	周遊・体験等コンテンツの開発件数	件	目標	—	50	80	100
			実績	—	55	87	103
			評価	—	110.0%/A	108.8%/A	103.0%/A
3	海外プロモーション数(累計)	件	目標	—	61	73	85
			実績	49	57	66	78
			評価	—	93.4%/B	90.4%/B	91.8%/B
4	観光消費拡大による雇用創出数(累計)	人	目標	—	3,627	4,988	7,256
			実績	2,076	2,076	2,076	(R5.9月)
			評価	—	57.2%/D	41.6%/D	—

項目7 定住人口・関係人口の創出・拡大

(1) 二地域居住・都市農村交流の促進

事例	交流・関係人口の創出
<ul style="list-style-type: none"> 関係人口の創出・拡大に向け、多自然地域の地域活動等への参加者受入のコーディネートを行う「ひょうご関係人口案内所」を設置（R4登録者582名） 継続的に里山と関わる人材の創出を目的に、大学生等が地域との交流や農地の管理体験などを行う「ひょうご里山体験バスツアー」を実施 	 <p>ひょうご里山体験バスツアー (佐用町江川地区)</p>

(2) 地域再生大作戦の展開

事例	地域が主体となった生活インフラの構築と地域交流拠点づくり
<ul style="list-style-type: none"> 地域の生活を支えていた唯一のスーパー閉店後に、不便を感じた住民が立ち上がり、地域の買物・交流拠点として令和2年12月に開設した「にこにこマーケット」（宍粟市波賀町）では、日常生活品の販売に加え、マルシェなどの交流イベントや子ども食堂などを開催。令和4年4月からは酒類の販売も開始し、地域の生活インフラ向上に貢献 	 <p>「にこにこマーケット」の店内</p>

(3) 地域特性に応じた空き家等の有効活用

事例	空き家等の活用促進
<ul style="list-style-type: none"> 令和4年4月、空家活用特区条例を施行。空家等活用促進特別区域（特区）において、市街化調整区域での用途変更などを可能とする規制緩和等により空家等の活用を図り、移住・定住・交流の促進や地域の活性化を推進（R4:2 地区指定） 空き家を住宅、事業所又は地域交流拠点として活用する場合の改修工事費を支援し、空き家の活用を促進 	 <p>多可町鍛冶屋の空き家を改修した チャレンジショップ等の「Kaji 家」</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	ひょうご e-県民制度登録者数	人	目標	—	50,000	65,000	80,000
			実績	31,076	52,159	74,999	79,627
			評価	—	104.3%/A	115.4%/A	99.5%/B
2	地域再生大作戦取組地区の交流人口(累計)	人	目標	—	86,000	129,000	154,000
			実績	43,000	75,232	119,732	167,056
			評価	—	87.5%/C	92.8%/B	108.5%/A
3	地域おこし協力隊活動者数(退任後も含む)	人	目標	—	190	195	200
			実績	178	247	266	294
			評価	—	130.0%/A	136.4%/A	147.0%/A
4	空き家活用件数(累計) [県・市町の統合指標]	件	目標	—	100	100	100
			実績	231	324	310	380
			評価	—	324.0%/A	310.0%/A	380.0%/A

項目 8 交流を支える交通基盤の充実

(1) 交流を支える交通基盤の充実

事例	高規格道路ネットワークの整備促進	
	<ul style="list-style-type: none"> 東播磨道(延長 12.1km)のうち、平成 26 年に開通済みの加古川中央ジャンクション～八幡稻美ランプの 5.2km に加えて八幡稻美ランプ～八幡三木ランプの 2.5km が令和 5 年 3 月 21 日に開通 山陰近畿自動車道「城崎道路」((仮称)豊岡北～(仮称)城崎温泉)について、令和 5 年度国権限代行事業による新規事業化が決定 播磨臨海地域道路では、令和 4 年 11 月に国から手交されたルート計画案を参考に都市計画案の作成に着手 	 <p>東播磨道開通状況</p>

事例	県内空港の活用による交流人口の拡大	
	<ul style="list-style-type: none"> 航空業界を取り巻くトピックスセミナーの開催を通じ、関西 3 空港の魅力や可能性を広く発信することで最大活用に向けた地元機運を醸成 但馬地域の交流人口拡大を目指し、コウノトリ但馬空港と鹿児島空港を結ぶチャーター直行便ツアーを実施 	 <p>航空業界を取り巻くトピックスセミナー</p>

事例	JR ローカル線維持・利用促進に向けた取組	
	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の日常生活や、観光・レジャーなど交流人口の拡大に欠かせない交通インフラであるローカル線の維持・利用促進に向け、沿線市町や JR 西日本、観光事業者等と連携して「JR ローカル線維持・利用促進検討協議会」を設置し、路線毎のワーキングチームによる利用促進策などを検討 	 <p>JRローカル線維持・利用促進検討協議会</p>

事例	次世代モビリティを活用した交通サービスの実証実験	
	<ul style="list-style-type: none"> 播磨科学公園都市において、地域住民や来訪者の移動に対する利便性の向上と地域活性化を図るため、超小型 EV など次世代モビリティサービスの社会実装に向けた実証実験を実施 (令和 4 年 10 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日) 	 <p>実証実験で利用した超小型 EV</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考)	計画期間		
				R1	R2	R3	R4
1	基幹道路延長に対する 供用延長割合(累計)	%	目標	—	83	84	84
			実績	82	83	84	85
			評価	—	100.0%/A	100.0%/A	101.2%/A
2	但馬空港の旅客数	万人	目標	—	4.7	3.1	4.5
			実績	4.1	1.6	2.1	3.0
			評価	—	34.0%/D	67.7%/D	66.7%/D

重点目標3 豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる

重点指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 住んでいる地域は、芸術文化に接する機会があると思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
		実績	38.2	38.2	37.1	39.0
		評価	—	99.7%/B	97.0%/B	105.1%/A
2 住んでいる地域が自然災害に対して「安全」「まあ安全」だと思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
		実績	73.2	71.8	72.8	69.6
		評価	—	98.0%/B	101.0%/A	95.6%/B
3 CEFR A1 レベル相当以上(英検準2級～3級相当)の英語力を有すると思われる中学3年生の割合	%	目標	—	42	44	46
		実績	㊟40.8	44.2	41.6	46.2
		評価	—	105.2%/A	94.5%/B	100.4%/A
	%	目標	—	50	50	50
		実績	㊟48.5	52.9	53.8	54.8
		評価	—	105.8%/A	107.6%/A	109.6%/A
4 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
		実績	小学校：84.6% 中学校：69.7%	(全国調査中止)	小学校：80.5% 中学校：66.8%	小学校：79.7% 中学校：65.5%
		評価	—	—	—	小学校 99.0%/B 中学校 98.1%/B
5 将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合	%	目標	—	67	68	69
		実績	64.7	68.4	68.9	67.5
		評価	—	102.1%/A	101.3%/A	97.8%/B
6 住んでいる地域は、高齢者にも、障害のある人にも暮らしやすいと思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
		実績	37.6	42.3	43.1	42.5
		評価	—	112.2%/A	101.7%/A	98.6%/B
7 住んでいる地域の自然環境は守られていると思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
		実績	47.3	52.1	47.5	53.4
		評価	—	109.9%/A	91.2%/B	112.4%/A

今後の取組方向

- 県民による芸術文化活動の支援や芸術・文化に親しむ機会の充実等、芸術文化が身近に感じられる地域づくりを推進する。
- にぎわいが感じられるまちづくりや、自然と共生できる地域づくりなど、良好で快適な生活環境の創出に取り組む。
- 安全安心でいきいきと暮らせるまちづくりのため、地域医療体制や地域防犯・防災体制の充実を図るとともに、年齢、性別、障害の有無、国籍などを問わず誰もが暮らしやすい生活・就労環境、地域で支え合う支援体制を整備する。
- 将来を担う人づくりを推進するため、教育環境の整備、確かな学力や豊かな心の育成、高等教育の充実等に取り組む。

項目9 豊かな文化が息づき、にぎわいあふれる地域づくり

(1) 芸術文化が身近に感じられる地域づくり

事例	芸術・文化に親しむ機会の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民の芸術文化に触れる機会充実を図るため、令和4年7月12日（火）から18日（月・祝）の1週間、県立芸術文化施設の無料開放や無料イベントを展開する「ひょうごプレミアム芸術デー」を開催 ・ コロナ禍における舞台芸術鑑賞機会の減少を踏まえ、音楽・演劇等の公演に学生を無料招待し、子ども・若者の芸術鑑賞機会を確保 		 <p>ひょうごプレミアム芸術デー (円山川公苑美術館)</p>

(2) にぎわいが感じられるまちづくりの推進

事例	オールドニュータウン再生事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活力の低下が懸念されるオールドニュータウンの再生を図るため、明舞団地をモデルに、住み替え相談や祭りなどの地域交流イベントの開催等、地域の魅力創出を支援。また、商業施設等の空き区画の活用や活性化の取組に対する支援を実施 		 <p>2022 明舞祭</p>

(3) 豊かな環境の保全と創造

事例	豊かな海づくりの推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年6月に改正された瀬戸内海環境保全特別措置法に基づき、令和4年10月に栄養塩類増加措置などを内容とする関係府県初の「兵庫県栄養塩類管理計画」を策定 ・ 令和4年11月に「第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会」を開催。全国各地からの参加者との交流を深め、豊かな海づくりに向けた兵庫の取組を発信 		 <p>「第41回全国豊かな海づくり大会 兵庫大会」放流行事</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	舞台芸術のアウトリーチ活動の実施回数	回	目標	—	73	75	76
			実績	65	38	60	81
			評価	—	52.1%/D	80.0%/C	106.6%/A
2	住んでいる都市が快適で魅力的だと思う人の割合	%	目標	—	56	57	58
			実績	55.0	57.0	57.5	53.5
			評価	—	101.8%/A	100.9%/A	92.2%/B
3	住んでいる地域で自慢したい地域の宝(風景・産物・文化等)があると思う人の割合	%	目標	—	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る
			実績	51.6	55.2	54.3	42.4
			評価	—	106.8%/A	98.0%/B	78.0%/C
4	人口集中地区の緑地率	%	目標	—	24.2	—	—
			実績	㊟24.6	24.6	—	— (次回 R7)
			評価	—	101.7%/A	—	—

項目 10 安全安心で、快適に暮らせる地域づくり

(1) 安全安心に暮らせる福祉・医療の充実

事例	ヤングケアラーへの支援など安全安心に暮らせる福祉・医療の充実
<ul style="list-style-type: none"> ヤングケアラー・若者ケアラーの相談窓口を開設。また、ヤングケアラー等の家事負担を軽減し、ケアが必要な家族への福祉サービスの支援につなげるため、ヤングケアラー配食支援モデル事業を実施（R4相談件数延べ258件、配食世帯数69世帯） 県内に定着する医師の増加や地域偏在の解消を図るため、神戸大学、兵庫医科大学等において、へき地等勤務医師を養成し、医師が不足する地域へ派遣（R3:117人、R4:131人） 	 <p>兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラーへの理解を深めるシンポジウム</p>

(2) 防災・減災対策の総合的推進

事例	自然災害に備える強靱な県土の構築
<ul style="list-style-type: none"> 平成30年7月豪雨や令和元年東日本台風等、激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、「河川対策アクションプログラム」に基づき、河川の事前防災対策を重点的に推進 南海トラフ地震による津波に備えるため、「津波防災インフラ整備計画」に基づき、防潮堤等の沈下対策や防潮水門の整備など緊急かつ重要な津波対策を計画的に推進 	 <p>新川・東川 防潮堤整備工事 (西宮市)</p>

(3) 地域生活を維持する革新的技術の普及促進

事例	ドローン等の革新的技術の普及促進
<ul style="list-style-type: none"> 姫路市坊勢島において、全国初となる水空合体ドローンを用いた定置網や海底状況調査を実施するとともに、内閣官房と共催で全国初の第1回ドローンサミットを神戸で開催 ドローンのレベル4[*]飛行に対する今後の取組や課題等について話し合う「レベル4飛行実現に向けたシンポジウム」を開催 ※住宅街などの有人地帯上空の目視外飛行 	 <p>第1回ドローンサミット</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	へき地等勤務医師の養成数	人	目標	—	236	246	263
			実績	217	236	246	262
			評価	—	100.0%/A	100.0%/A	99.6%/B
2	治安が良く安心して暮らせると思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	79.4	82.8	79.6	70.3
			評価	—	104.2%/A	96.1%/B	88.3%/C
3	災害に備えて飲料水や食料品の備蓄をしている人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	74.4	76.4	77.7	78.5
			評価	—	102.6%/A	102.0%/A	101.0%/A

項目 11 次代の人材が育ち、誰もが力を発揮できる地域づくり

(1) 次代を担う人材を育成する教育力の強化

事例	STEAM 教育や起業家教育の展開
<ul style="list-style-type: none"> 国内外で活躍する「未来を創造する力を備えた人材」を育成するため、文理を横断した新しい学び（STEAM教育）を指定校3校で実施（兵庫高校、加古川東高校、豊岡高校） 社会課題の解決に向け、起業も含め主体的に取り組む若者を育成するため、自ら課題を発見し、解決策を考える実践型教育プログラムを提供する「ひょうごスタートアップアカデミー」を実施 	 <p>ひょうごスタートアップアカデミー 公開授業の知事視察 (啓明学院中学校)</p>

(2) 全員活躍社会の構築

事例	パラスポーツの推進
<ul style="list-style-type: none"> パラスポーツの普及拡大を図るため、体験機会の創出やアスリートの発掘・育成を行う「パラスポーツ拡大推進プロジェクト」を展開 パラスポーツへの理解促進のため、しあわせの村全体を会場に 18 種のパラスポーツを体験できる「パラスポーツ王国 2022」を開催 	 <p>パラスポーツ王国 2022</p>

(3) 多文化共生社会の実現

事例	ひょうごウクライナ支援プロジェクト
<ul style="list-style-type: none"> ウクライナ避難民支援の呼びかけに寄せられた 7,600 万円を超えるふろさとひょうご寄附金を活用し、相談窓口の開設、生活支援金の給付、公民連携プラットフォーム「ひょうごウクライナ避難民支援サイト」の開設など、避難生活を総合的に支援する「ひょうごウクライナ支援プロジェクト」を展開（R4 相談：579 件、給付：31 世帯 27,480 千円） 	 <p>駐日ウクライナ大使の 知事表敬訪問</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	英語の勉強が好きだと回答した生徒の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	56.7	—	57.9	—
			評価	—	—	—	—
2	キャリアノート等を中学校へつなげている学校の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	63.1	75.6	93.4	100.0
			評価	—	119.8%/A	123.5%/A	107.1%/A
3	企業等に勤める外部人材を招いた授業（講演会を除く）を実施した学校の割合	%	目標	—	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	—	53.1	55.1	66.0
			評価	—	—	103.8%/A	119.8%/A
4	仕事と生活の調和推進企業認定件数(累計)	社	目標	—	300	360	420
			実績	244	300	365	437
			評価	—	100.0%/A	101.4%/A	104.0%/A
5	就労系障害福祉サービス利用者数(累計)	人	目標	—	17,372	19,094	20,278
			実績	16,471	17,446	18,451	(R5.11月)
			評価	—	100.4%/A	96.6%/B	—
6	障害者雇用率(法定雇用率)	%	目標	—	2.2	2.3	2.3
			実績	2.20	2.21	2.25	2.28
			評価	—	100.5%/A	97.8%/B	99.1%/B
7	住んでいる地域が外国人にも暮らしやすくなっていると思う人の割合	%	目標	—	26	27	28
			実績	25.7	29.5	30.5	23.0
			評価	—	113.5%/A	113.0%/A	82.1%/C

戦略2 社会増対策（社会減ゼロ プログラム）

1 目標

- ①2024年までに日本人社会減ゼロを目指す
- ②20歳代前半の日本人若者の県内定着率93.0%を目指す
- ③5年間で25,000人の外国人の増加を目指す

2 達成状況

戦略指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 日本人の転入超過数	人	目標	—	▲4,449	▲2,669	▲1,068
		実績	▲7,260	▲7,523	▲6,220	▲5,990
		評価	—	—/D	—/D	—/D
2 20歳代前半の若者定着率93.0%を目指す	%	目標	—	92.2	92.4	92.6
		実績	92.0	91.5	91.5	91.4
		評価	—	99.2%/B	99.0%/B	98.7%/B
3 外国人の増加数（累計）	人	目標	—	5,000	10,000	15,000
		実績	1,222 (単年)	3,446	4,126	17,080
		評価	—	68.9%/D	41.3%/D	113.9%/A

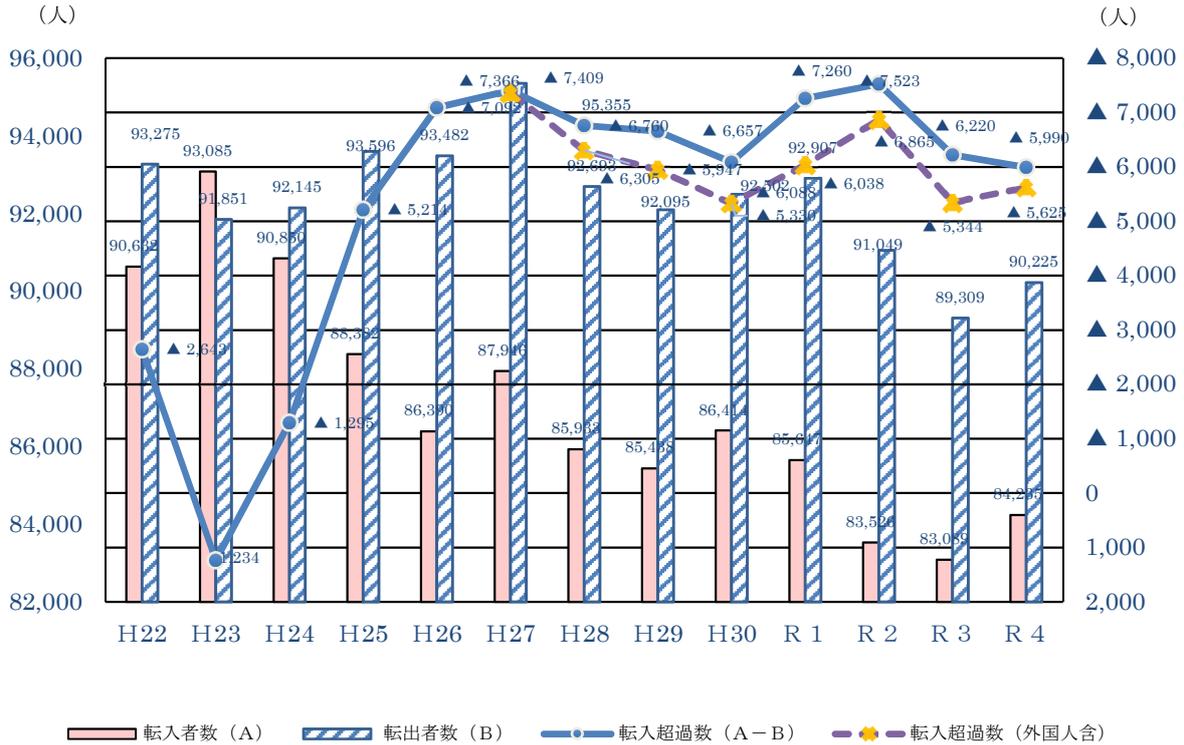
<状況分析>

- ・令和4年住民基本台帳人口移動報告における日本人の社会減（国内移動）は▲5,990人で、令和3年から230人改善した。
- ・20歳代の転出超過は依然として深刻だが、一方で、令和2年以降、ファミリー層（0～14歳、30～49歳）の転入超過が拡大している。
- ・就職等に伴う転出により、20歳代前半の若者定着率は低下基調が続いている。
- ・コロナ禍の影響で止まっていた入国制限が緩和され、外国人転入者数は急増した。

3 今後の取組方向性

- 学生と企業とのマッチング支援などにより、若者の県内就職を促進。また、高等教育の負担軽減や新婚・子育て世帯向け住宅の提供など、若者の定住・移住促進策を展開

【兵庫県の転出入の状況】



(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

【人口移動（社会増減）の推移（日本人）】

項目	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
転入数 (A)	87,946	85,933	85,438	86,414	85,647	83,526	83,089	84,235
転出数 (B)	95,355	92,693	92,095	92,502	92,907	91,049	89,309	90,225
転入超過数 (A-B)	▲7,409	▲6,760	▲6,657	▲6,088	▲7,260	▲7,523	▲6,220	▲5,990
()：国際移動含む						▲5,321	▲6,429	▲7,033

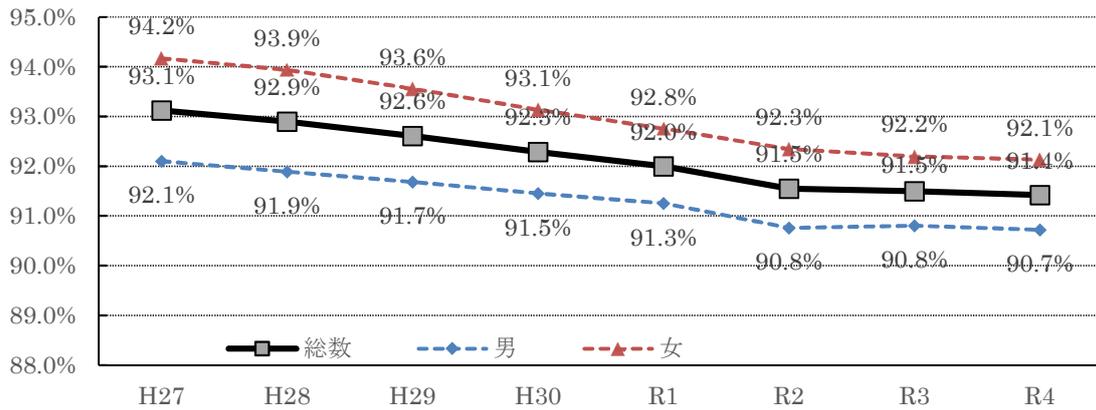
(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

【年代別転入超過数の推移（日本人）】

項目	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
9歳以下	196	595	396	1,025	752	891	1,159	1,322
10代	164	▲165	▲179	▲258	▲277	117	250	158
20代	▲5,518	▲5,743	▲5,991	▲6,690	▲7,098	▲8,832	▲7,962	▲8,327
30代	▲1,399	▲954	▲694	▲27	▲542	▲26	280	339
40代	▲574	▲245	▲407	▲98	▲308	401	245	475
50代	▲30	▲41	6	101	226	192	93	392
60代	▲182	▲89	128	6	69	111	166	142
70代	▲64	▲142	34	▲60	8	▲205	▲269	▲188
80代	9	▲16	53	▲53	▲94	▲163	▲151	▲289
90代	▲12	40	▲3	▲34	4	▲9	▲31	▲13
合計	▲7,409	▲6,760	▲6,657	▲6,088	▲7,260	▲7,523	▲6,220	▲5,990

(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

【20歳代前半の若者の県内定着率(日本人)の推移】



(人)

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
総数(20~24歳)	291,823	284,552	278,325	273,482	269,343	268,020	265,025	264,519	264,023	265,294	263,157	263,321	261,000
他自治体への転出者数	16,118	15,898	16,245	16,832	17,043	18,430	18,814	19,549	20,367	21,227	22,244	22,395	22,392
転出率	5.5%	5.6%	5.8%	6.2%	6.3%	6.9%	7.1%	7.4%	7.7%	8.0%	8.5%	8.5%	8.6%
定着率	94.5%	94.4%	94.2%	93.8%	93.7%	93.1%	92.9%	92.6%	92.3%	92.0%	91.5%	91.5%	91.4%

(出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、「住民基本台帳人口移動報告」)

【人口移動(社会増減)の推移(外国人)】

(人)

項目	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
転入数(A)	5,153	5,711	7,100	7,631	9,001	7,646	8,500	10,334
転出数(B)	5,110	5,256	6,390	6,873	7,779	6,988	7,624	9,969
転入超過数(A-B)	43	455	710	758	1,222	658	876	365
()：国際移動含む						(3,446)	(680)	(12,954)

(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

重点目標 4 自分らしく働ける兵庫をつくる

重点指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 20～30 歳代の若者の転入超過数(日本人)	人	目標	—	▲6,112	▲4,584	▲3,056
		実績	▲7,640	▲8,858	▲7,682	▲7,988
		評価	—	—/D	—/D	—/D
2 新たに農業、林業、漁業に就いた者の数	人	目標	—	480	375	375
		実績	325	399	371	382
		評価	—	83.1%/C	98.9%/B	101.9%/A
3 外国人材(専門的・技術的分野、特定技能、技能実習生)の受入数	人	目標	—	19,230	23,100	27,100
		実績	19,737	21,559	21,050	23,957
		評価	—	112.1%/A	91.1%/B	88.4%/C

今後の取組方向

- 県内企業との連携により、職場体験の推進など、企業と学生とのマッチングを促進し、若者の県内定着を促進する。
- 女性、外国人、留学生など、多様な人材が活躍できる職場づくりを推進する。
- 農林水産業の新たな担い手を育成するため、新規就農を希望する者への支援を充実するとともに、法人化や企業参入を促進し、雇用就農の拡大を図る。
- 地方回帰の流れを受けた地方移住への関心の高まりを踏まえ、UJI ターンを促進するため、移住相談体制を拡充する。また、高等教育の負担軽減や新婚・子育て世帯向け住宅の提供など、若者の定住・移住促進策を展開する。
- 外国人材の地域での活躍を促進するため、地域との共生や外国人材が持てる能力を発揮できる環境整備を推進する。

項目1 地元就業の促進

(1) 県内就業意識の高揚

事例	高校・大学と連携した取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業の魅力を知り、地元企業への就職を意識づけするため、大学生等を対象としたインターンシップや、参画企業とのマッチング会を開催（参加学生 R3:490人、R4:525人） ・ 県内企業の情報を掲載した企業ガイドブックを県内高校2年生全員に配布（R3:242校47千人、R4:238校44千人）。また、大学生対象のWEB版ガイドブックも作成し情報発信 		 <p>企業と学生との交流会チラシ</p>

(2) 地元企業と若者のマッチング強化

事例	県内企業と若者のマッチング	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業の人材確保と若者の県内就職を促進するため、「ひょうごで働こう！マッチングサイト」による県内企業の求人情報や魅力を発信（マッチング件数 R3:214 件、R4: 200 件） ・ ワーク・ライフ・バランス表彰企業のみが出席する WEB 企業魅力発信フェアを実施（企業 44 社、学生 111 人参加） 		 <p>「ひょうごで働こう！マッチングサイト」チラシ</p>

(3) 女性活躍の推進

事例	ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度の創設	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業の女性活躍を促進するため、女性活躍に積極的に取り組む企業を県が認定し、広くPRする「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度」を創設。若者等にアピールすることで県内企業への就職を促進（認定企業数 70 社） 		 <p>ミモザ企業認定マーク</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間			
					R2	R3	R4	
1	県内大学生の県内就職希望率	%	目標	—	66	67	68	
			実績	65.5	66.0	72.8	75.6	
			評価	—	100.0%/A	108.7%/A	111.2%/A	
2	県内大学卒業生の県内企業への就職率	%	目標	—	33	33	33	
			実績	28.2	29.8	29.4	28.8	
			評価	—	90.3%/B	89.1%/C	87.3%/C	
3	若者（20歳代）の転入超過数	人	目標	—	▲5,678	▲4,259	▲2,839	
			実績	▲7,098	▲8,832	▲7,962	▲8,327	
			評価	—	—/D	—/D	—/D	
4	若年女性（20歳代）の転入超過数（上記の内数）	人	目標	—	▲2,312	▲1,734	▲1,156	
			実績	▲2,890	▲3,697	▲3,117	▲3,513	
			評価	—	—/D	—/D	—/D	
5	中小企業における「一般事業主行動計画」（女性の活躍に関する目標・取組）の策定率（累計）	%	目標	—	50	60	100	
			実績	3.1	4.9	17.5	99.3	
			評価	—	9.8%/D	29.2%/D	99.3%/B	
6	農業分野のしごと創出数	人	目標	—	400	300	300	
			実績	243	299	268	270	
			評価	—	74.8%/C	89.3%/C	90.0%/B	

項目2 UJIターンの促進

(1) 第二新卒者等、若年層のUJIターンの支援

事例	ひょうごで働こう！合同企業説明会等の開催
	<ul style="list-style-type: none"> ・全国どこからでも参加が可能なWeb方式による合同企業説明会を開催するなど、多くの企業情報提供の場を設け、県内外の学生とのマッチング機会を創出（R3:7回 R4:7回） ・就職活動への関わり方や県内企業の魅力を伝える「保護者向け就活応援セミナー」を開催（R3:1回、R4:1回）
	 <p>ひょうごで働こう！合同企業説明会</p>

事例	首都圏の学生等に対する県内就職の促進
	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏在住求職者や就職氷河期世代等の不安定就業者等に対し、適性にあった企業への就職を支援する「おためし企業体験事業 in HYOGO」を実施（R4参加者:269人） ・県内企業への就職・転職のきっかけとなるよう、首都圏へ流出した女子学生・転職希望者等と県内企業の人事担当者や実際に活躍している女性社員等ロールモデルによる交流会やワークショップを、オンラインも含めたハイブリッド方式で実施
	 <p>「おためし企業体験事業」 チラシ</p>

(2) カムバックひょうごセンターを核とした移住・定住の促進

事例	移住・定住に向けた「カムバックひょうごセンター」の運営
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひょうご移住プラザ」（東京）、「カムバックひょうごセンター大阪サテライト」（大阪）、「カムバックひょうごセンター」（神戸）の3拠点においてUJIターンの相談を実施 ・「ひょうご移住プラザ」に「カムバックひょうごハローワーク」を併設し、ワンストップで移住と就労相談を実施（移住相談件数 R3:1,180件、R4:888件、就労相談件数 R3:113件、R4:133件）
	 <p>ひょうご移住プラザ相談ブース</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	県の支援によるUJIターン就職者数	人	目標	—	650	700	750
			実績	722	677	774	1,086
			評価	—	104.2%/A	110.6%/A	144.8%/A
2	カムバックひょうごセンター移住相談件数	件	目標	—	5,800	6,400	7,000
			実績	5,880	798	1,180	888
			評価	—	13.8%/D	18.4%/D	12.7%/D
3	移住施策によって県外から転入した人の数(累計)[県・市町の統合指標]	人	目標	—	400	800	1,200
			実績	674	913	1,671	2,704
			評価	—	228.3%/A	208.9%/A	225.3%/A
4	ひょうごe-県民登録者数(県外)	人	目標	—	35,000	45,000	55,000
			実績	19,855	30,317	36,642	38,803
			評価	—	86.6%/C	81.4%/C	70.6%/C

項目3 外国人材の活躍推進

(1) 高度外国人材の受け入れ促進

事例	外国人留学生の県内企業への就職促進	
	<ul style="list-style-type: none"> 外国人留学生の高度人材としての県内企業への就職を促進するため、外国人留学生のインターンシップや日本語能力向上支援を実施 大学と企業の意見交換会や合同企業説明会の開催（R3:2件、R4:2件）のほか、動画配信サイトで元留学生等からのメッセージを配信するなど、就活に関する情報を多言語で発信 	 <p>ビジネス日本語講座</p>

事例	外国企業向け一次進出プロモーションの実施	
	<ul style="list-style-type: none"> 外国企業の一次進出を兵庫県に効果的に取り込むため、欧州・米国・中国において兵庫・神戸の立地環境の魅力やワンストップサービスを周知するセミナー等を実施 パリ、ワシントン州、香港の3海外事務所主催で、各地でセミナーを開催（R4:3回） 	 <p>一次プロモーション@パリ</p>

(2) 外国人材の県内定着の促進

事例	外国人県民向け生活相談を実施	
	<ul style="list-style-type: none"> 相談員による生活・専門相談、情報提供及び、電話による外部通訳等を活用した22言語による生活相談・情報提供を実施し、外国人県民が暮らしやすい生活基盤づくりを推進（R4 ひょうご多文化共生総合相談センター相談件数4,264件） 	 <p>ひょうご多文化共生総合相談センター相談窓口</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	外国人材の受入数（専門的・技術的分野）	人	目標	—	7,400	8,550	9,700
			実績	7,881	8,771	10,076	12,809
			評価	—	118.5%/A	117.8%/A	132.1%/A
2	外国人材の受入数（特定技能）	人	目標	—	2,400	4,800	7,200
			実績	50	853	2,548	(R5.9月)
			評価	—	35.5%/D	53.1%/D	—
3	県立大学の海外留学生数（受入人数）	人	目標	—	350	350	350
			実績	224	234	231	256
			評価	—	66.9%/D	66.0%/D	73.1%/C
4	県内中小企業等に就職した留学生数	人	目標	—	600	600	600
			実績	659	854	1,002	(R5.12月)
			評価	—	142.3%/A	167.0%/A	—
5	住んでいる地域が外国人にも暮らしやすくなっていると思う人の割合	%	目標	—	26	27	28
			実績	25.7	29.5	30.5	23.0
			評価	—	113.5%/A	113.0%/A	82.1%/C

戦略3 自然増対策(子ども・子育て対策)(婚姻数拡大プログラム)

1 目標

- ①2024年まで合計特殊出生率1.41を維持する
- ②結婚したいという希望を叶え、2024年に婚姻数27,000件を目指す

2 達成状況

戦略指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 合計特殊出生率	‰	目標	—	1.41	1.41	1.41
		実績	1.41	1.39	1.36	1.31
		評価	—	98.6%/B	96.5%/B	92.9%/B
2 婚姻件数	件	目標	—	25,000	25,500	26,000
		実績	25,109	21,964	20,938	20,844
		評価	—	87.9%/C	82.1%/C	80.2%/C

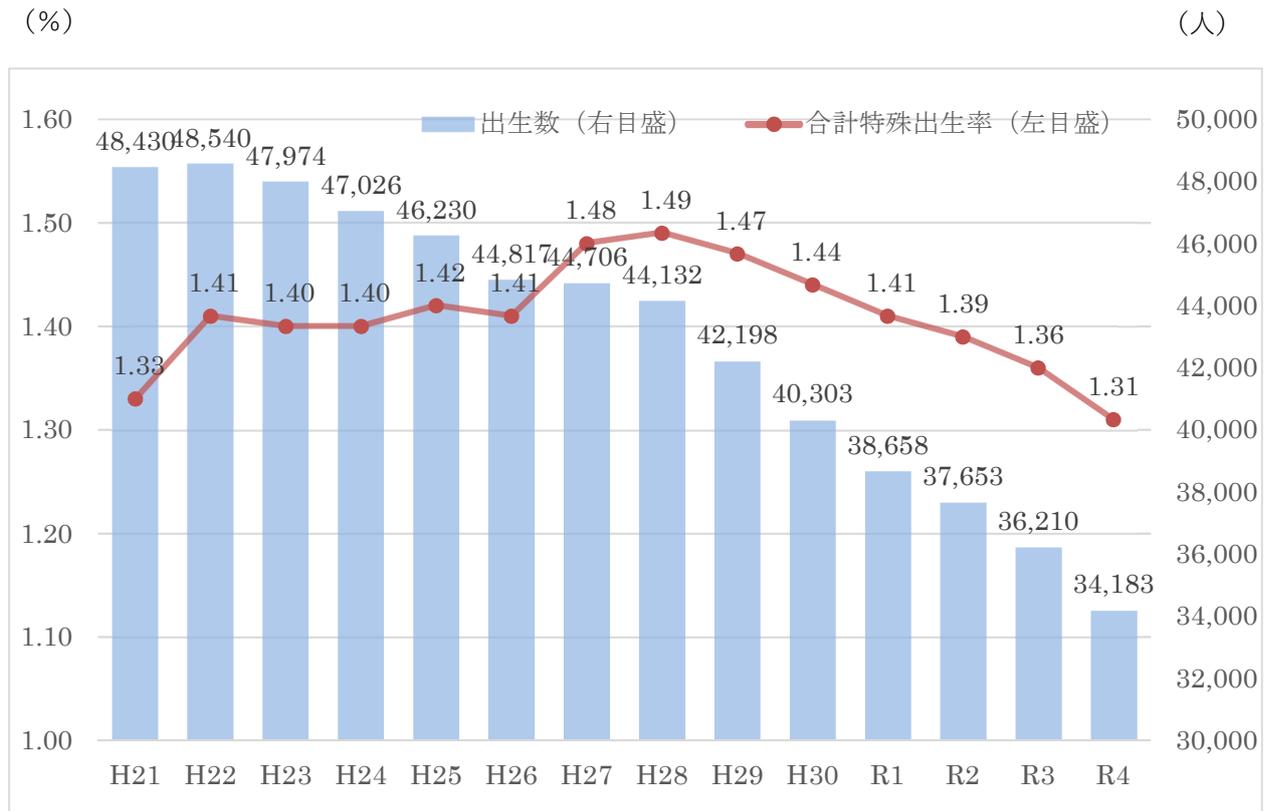
〈状況分析〉

- ・合計特殊出生率は、未婚率の上昇等により平成28年の1.49をピークに低下している。コロナ禍での感染リスクへの不安から、妊娠を控える動きもあり、令和4年は、前年比0.05ポイント減の1.31(概数ベース)となり、平成29年から6年連続で低下した。
- ・婚姻件数は、令和元年は令和婚の影響もあり25,109件と前年より増加したが、令和4年は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年、3年に続き減少(前年比▲94件)し、長期的にみても減少傾向にある。

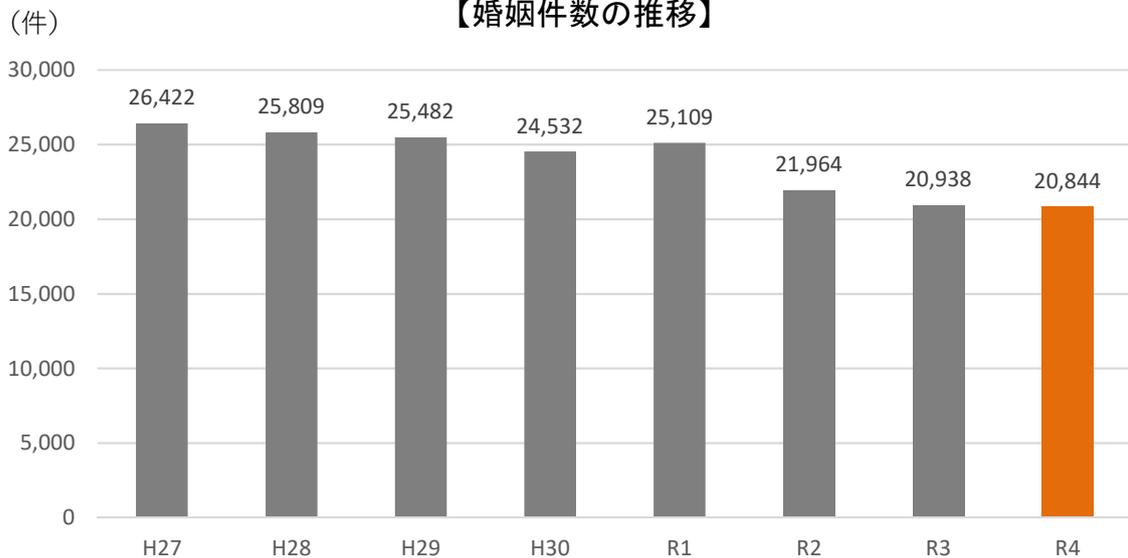
3 今後の取組方向性

- 出会い支援や不妊治療への支援強化、仕事と子育ての両立支援など、結婚・出産・子育て環境の充実に向けた切れ目のない支援を展開

【出生数と合計特殊出生率の推移】



【婚姻件数の推移】



重点目標5 結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる

重点指標		単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	結婚願望がある者の割合	%	目標	—	—	—	—
			実績	③60.5	—	—	— (次回 R5)
			評価	—	—	—	—
2	住んでいる地域では、 子育てがしやすいと思 う人の割合	%	目標	—	前年度を 上回る	前年度を 上回る	前年度を 上回る
			実績	55.4	58.3	58.8	55.5
			評価	—	105.2%/A	100.9%/A	94.3%/B
3	保育所等待機児童数	人	目標	—	0	0	0
			実績	1,569	769	311	241
			評価	—	—/D	—/D	—/D
4	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)の 待機児童数	人	目標	—	0	0	0
			実績	954	1,180	929	1,023
			評価	—	—/D	—/D	—/D

今後の取組方向

- 出会い支援や不妊治療への支援強化、仕事と子育ての両立支援など、結婚・出産・子育て環境の充実に向けた切れ目のない支援を展開する。
- 妊娠・出産への不安を解消するため、妊婦等の孤立防止や安心して妊娠・出産できる医療体制の整備に取り組む。
- 結婚や子育てといったライフステージの変化に応じた多様で柔軟な働き方ができるよう、幼児期の保育等を質・量ともに拡充するとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進し、出生数の増加につなげる。

項目1 結婚のきっかけづくり

(1) 出会い・結婚支援の充実

事例	出会いと結婚支援の充実
	<ul style="list-style-type: none"> 「地域出会いサポートセンター」及び「ひょうご出会いサポート東京センター」において、各種サポート等、成婚に繋げる取組を実施（成婚数R3:93組、R4:110組） さらに機能性・利便性を高めるため、各種手続きをオンライン化するとともに、AIによる自動お相手紹介機能を有する新たなマッチングシステムを開発 新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト（新居の家賃、引っ越し費用等）を支援する市町を対象に、支援額の一部を補助（R4：17市町で実施）



ひょうご出会いサポートセンター

事例	”結婚っていいな！”西播磨縁結び事業
	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や団体等が連携して、独身者が結婚に前向きになるような、きめ細やかな縁結び活動を促進し、地域ぐるみで結婚を進める機運を醸成 地域の魅力をPRするとともに、西播磨地域で結婚していきいきと暮らしている人の紹介や、結婚支援イベント情報、婚活に役立つコラム、西播磨のおすすめデートスポットなどを紹介する結婚支援情報フリーペーパー「一緒に暮らそう。西播磨。」を発行



一緒に暮らそう。西播磨

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	出会いイベントの参加者数	人	目標	—	7,000	7,000	2,000
			実績	4,782	1,943	2,099	1,907
			評価	—	27.8%/D	30.0%/D	95.4%/B
2	出会いサポートセンター会員数	人	目標	—	5,000	7,000	3,500
			実績	4,176	3,562	3,306	3,094
			評価	—	71.2%/C	47.2%/D	88.4%/C
3	出会い支援事業等の成婚者数【県・市町の統合指標】	組	目標	—	355	355	355
			実績	530	169	137	148
			評価	—	47.6%/D	38.6%/D	41.7%/D
4	20～30歳代女性の転入超過数(日本人)	人	目標	—	▲2,708	▲2,031	▲1,354
			実績	▲3,385	▲3,786	▲2,933	▲3,468
			評価	—	—/D	—/D	—/D

項目2 安心して子どもを産み育てられる環境の整備

(1) 妊娠・出産の不安解消

事例	不妊や予期せぬ妊娠など妊娠期から寄り添う子育て支援の充実
<ul style="list-style-type: none"> 予期せぬ妊娠など妊娠・出産・育児に対する悩みや不安を抱えた方やその家族等が、電話やメール、LINE面談、受診同行など、24時間365日安心して専門家に相談できる窓口を設置 (R4相談件数14,976件) 不妊の原因を早期に発見し、効果的な治療へ繋げるため、不妊治療の入り口となる検査費用について助成するとともに、高額な医療費がかかる不妊治療に要する費用の一部を助成 (R4助成件数961件) 	 <p>県内高校等に配付するカード</p>

(2) 子育てや教育に係る負担の軽減

事例	乳幼児等医療費助成事業・こども医療費助成事業等の実施
<ul style="list-style-type: none"> 一定の所得以下の家庭の乳幼児等が病気やけがで医療機関等を受診した場合に、医療保険における自己負担額の一部を公費で負担する「乳幼児等医療費助成事業」(対象:小学3年生まで)及び「こども医療費助成事業」(対象:小学4年生から中学3年生まで)を実施し、医療に係る負担を軽減(対象者数 R3:540,129名、R4:525,948名) 幼児教育・保育の無償化の給付を受けていない、満3歳以上の幼児の保護者が負担する子育て施設等の利用料を支援(R4:延べ1,134名を支援) 	 <p>兵庫県立こども病院</p>

【政策アウトカム指標】

指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 推計値と合計特殊出生率との差	—	目標 (推計値)	—	0 (1.41)	0.03 (1.38)	0.05 (1.36)
		実績 (合計特殊出生率)	— (①1.41)	▲0.02 (1.39)	▲0.02 (1.36)	▲0.05 (1.31)
		評価	—	—/D	—/D	—/D
2 周産期母子センター・周産期医療協力病院の指定数	箇所	目標	—	31	31	31
		実績	31	31	30	30
		評価	—	100.0%/A	96.8%/B	96.8%/B
3 院内助産・助産師外来の設置箇所数	箇所	目標	—	28	30	32
		実績	28	28	30	27
		評価	—	100.0%/A	100.0%/A	84.4%/C
4 里親登録者数	人	目標	—	464	509	554
		実績	403	433	478	515
		評価	—	93.3%/B	93.9%/B	93.0%/B
5 児童のいる世帯のうち2人以上児童のいる世帯数割合	%	目標	—	—	—	58.7
		実績	54.3	—	—	49.4
		評価	—	—	—	84.2%/C

項目3 子育て応援社会の形成

(1) 放課後等の居場所づくり

事例	放課後児童クラブの充実など子どもたちの居場所づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等通園児の小学校入学を機に保護者の仕事と育児の両立が困難となる「小1の壁」の解消を図るため、開設時間の延長等放課後児童クラブの機能を充実（R4利用児童数56,957人） ・ 同クラブへのマスクや消毒液等の配布、感染防止用の備品購入に関する支援のほか、利用児童等の入退居の管理や、オンラインを活用した会議、研修受講に必要なICT機器の導入等の環境整備に関する支援を実施（R4：26市町へ補助） 	 <p>放課後児童クラブ</p>

(2) 子育て家庭を見守る地域づくり

事例	「乳幼児子育て応援事業」などすべての子育て家庭を対象とした支援
<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅で保育されている子どもや保護者が、保育所等でしつけや集団活動を学ぶ、「乳幼児子育て応援事業（0～2歳児）」など、全ての子育て家庭を対象とした支援を実施（R4実施箇所511園） ・ 令和3年度から、子育ての悩みや不安を抱え在宅で育児をする世帯をより積極的に支援するため「ひょうご子育て相談」を開設し、電話相談や、必要に応じて専門職による相談などを実施（R4相談件数480件）。また、令和5年2月から「親子のための相談LINE」を開設 	 <p>親子のための相談LINE</p>

【政策アウトカム指標】

指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 保育所・認定こども園等定員数（累計）	人	目標	—	115,000	118,000	120,000
		実績	115,268	119,108	121,964	123,660
		評価	—	103.6%/A	103.4%/A	103.1%/A
2 保育士・保育教諭、幼稚園教諭数	人	目標	—	【保育士・保育教諭】 20,200 【幼稚園教諭】 4,096	【保育士・保育教諭】 20,900 【幼稚園教諭】 4,054	【保育士・保育教諭】 21,200 【幼稚園教諭】 4,013
		実績	【保育士・保育教諭】 19,684 【幼稚園教諭】 4,140	【保育士・保育教諭】 20,688 【幼稚園教諭】 4,045	【保育士・保育教諭】 21,711 【幼稚園教諭】 3,969	【保育士・保育教諭】 (R5.12月) 【幼稚園教諭】 3,944
		評価	—	【保育士・保育教諭】 102.4%/A 【幼稚園教諭】 98.8%/B	【保育士・保育教諭】 103.9%/A 【幼稚園教諭】 97.9%/B	【保育士・保育教諭】 — 【幼稚園教諭】 98.3%/B
3 病児・病後児保育の不足量	人日	目標	—	需給均衡	需給均衡	需給均衡
		実績	▲20,570	▲60,779	▲65,698	▲66,443
		評価	—	—/A	—/A	—/A
4 夫の育児・家事分担時間	分	目標	—	—	—	R7年度までに120分
		実績	Ⓒ85	—	94	(次回R8)
		評価	—	—	—	—

戦略 4 自然増対策(健康長寿対策)(健康寿命延伸プログラム)

1 目標

- ①平均寿命と健康寿命の差を縮める
- ②運動を継続している人の割合を高める

2 達成状況

戦略指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 平均寿命と健康寿命の差	年齢差	目標	—	—	—	R6に 男性：1.40未満 女性：3.13未満
		実績	男性：1.48 女性：3.20	男性：1.44 女性：3.16	(R5中)	(R6中)
		評価	—	—	—	—
2 運動を継続している人の割合	%	目標	—	73.0	75.0	64.4
		実績	62.7	65.5	63.0	67.8
		評価	—	89.7%/C	84.0%/C	105.3%/A

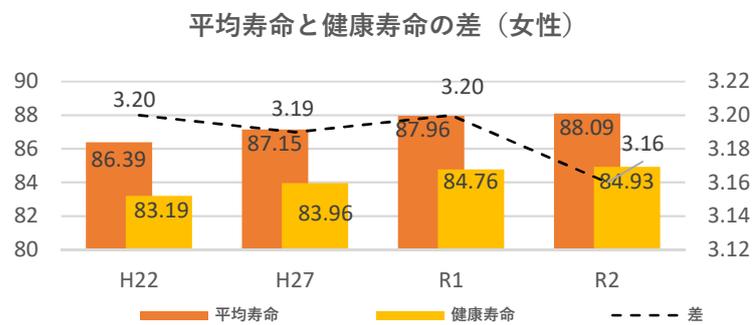
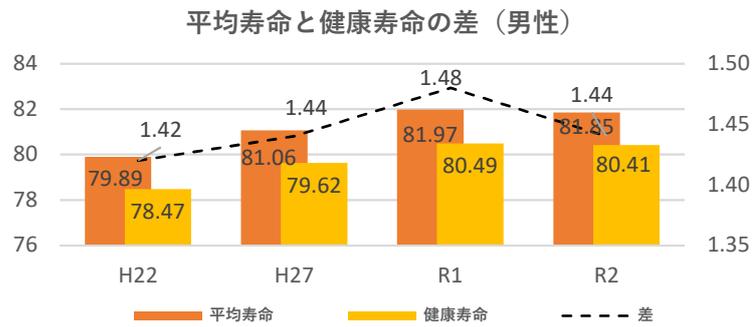
〈状況分析〉

- ・平均寿命と健康寿命の差は男女いずれも縮小した。
- ・運動を継続している人の割合は67.8%と昨年より4.8ポイント上昇した。

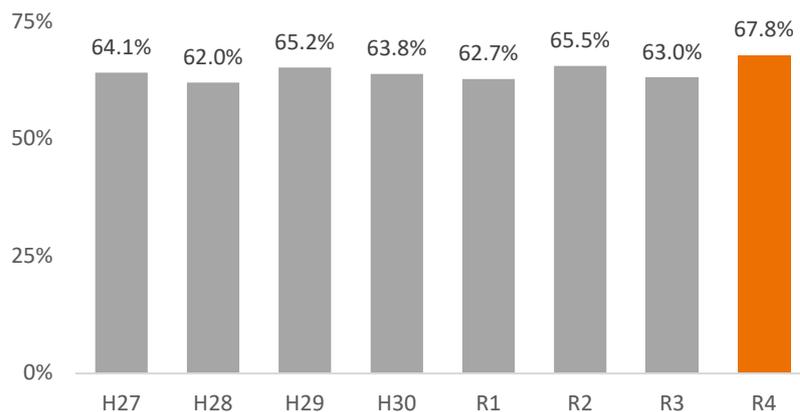
3 今後の取組方向性

- 生活習慣の改善や、がんや認知症の予防・早期発見の推進、高齢になっても安心して暮らせる地域づくりなど、一人ひとりに寄り添う地域医療・介護体制の構築を推進

【健康寿命、平均寿命の推移（男女別）】



【運動を継続している人の割合の推移】



重点目標 6 生涯元気に活躍できる兵庫をつくる

重点指標	単位	区分	(目標) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 がんによる 75歳未満 の年齢調整 死亡率	%	目標	—	—	—	R5年度までに全国 平均より5%低い 状態
		実績	全国平均よりも 3.1%低い状態 (国70.0%、県 67.8%)	全国平均よりも 0.9%低い状態 (国69.6%、県 69.0%)	全国平均よりも 0.7%低い状態 (国67.4%、県 66.9%)	(R6.3月)
		評価	—	—	—	—
2 朝食を食べ る人の割合	%	目標	—	—	—	R6年度までに 【20歳代男性】 57%以上 【20歳代女性】 76%以上
		実績	【20歳代男性】 ^㉗ 51.4% 【20歳代女性】 ^㉗ 69.2%	【20歳代男性】 57.1% 【20歳代女性】 75.8%	【20歳代男性】 47.0% 【20歳代女性】 64.9%	【20歳代男性】 61.3% 【20歳代女性】 66.7%
		評価	—	—	—	—
3 認知症相談 医療機関の 登録数	箇所	目標	—	2,186	2,202	2,218
		実績	2,168	2,138	1,937	1,955
		評価	—	97.8%/B	88.0%/C	88.1%/C
4 75歳以上 人口に占め る要介護認 定率	%	目標	—	—	—	R7年度に34.6%
		実績	34.3	34.6	(R5.9月)	(R6.9月)
		評価	—	—	—	—
5 高齢者(65 歳～74歳) の有業率	%	目標	—	—	—	38.3
		実績	㉘32.7	—	—	37.3
		評価	—	—	—	97.4%/B

今後の取組方向

- 疾病の早期発見・早期治療を推進するため、健康診断等の受診を促進するとともに、生活習慣の改善促進による主体的な健康づくりを支援する。
- 高齢者になっても安心して暮らせるよう、市町と連携し、介護予防・重度化防止や認知症の予防、早期発見・早期対応の取組を推進するほか、地域で医療、介護、生活支援を総合的に提供する仕組みの構築を支援する。
- 年齢にかかわらず元気高齢者がこれまで培った知識・スキル、経験を生かし、社会の担い手として活躍できるよう、高齢者の多様な社会参加へのニーズに対応できる環境を整備する。

項目1 健康づくりの推進

(1) 疾病の予防・早期発見・早期治療の推進

事例	がん検診の推進など疾病の予防・早期発見・早期治療の推進
<ul style="list-style-type: none"> がん検診の「受診しやすい環境づくり」に取り組む事業所を支援するため、健康づくりチャレンジ企業のうち従業員数が300人以下の事業所及び県内の従業員数100人以下の事業所等において、従業員やその被扶養者ががん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん）を受診した場合にその費用の一部を助成（R4助成：180企業、11,201人） 生涯にわたり健康で質の高い生活を送るための基礎となる歯及び口腔の健康づくりの推進のため、「歯及び口腔の健康づくり推進条例」を制定（令和4年4月1日施行） 	 <p>歯及び口腔の健康づくり 推進大会</p>

(2) 生活習慣の改善促進

事例	生活習慣の改善促進
<ul style="list-style-type: none"> 県民の健康寿命の延伸を目指し、健康づくりに関心の低い働き盛り世代の取組を促進するため、従業員やその家族の健康づくりに積極的に取り組もうとする企業に「健康づくりチャレンジ企業」への登録を促進（R3:2,012社、R4:2,163社） 登録企業に対しては、健康情報の提供やメンタルヘルス対策に関する産業カウンセラー等の専門人材の派遣、がん検診・歯科健診受診促進や健康づくり機器等の購入費の一部助成などの取組支援を実施（企業のメンタルヘルス等推進事業実績 R3:150社、R4:168社） 	 <p>「健康づくりチャレンジ企業」 チラシ</p>

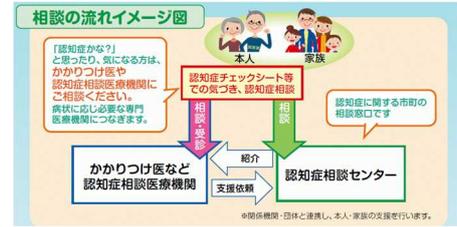
【政策アウトカム指標】

指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間			
				R2	R3	R4	
1 特定健診受診率	%	目標	—	50	52	55	
		実績	51.7	49.7	52.7	(R6 中)	
		評価	—	99.4%/B	101.3%/A	—	
2 特定保健指導実施率	%	目標	—	20	25	30	
		実績	20.1	20.1	22.7	(R6 中)	
		評価	—	100.5%/A	90.8%/B	—	
3 がん検診受診率	%	目標	—	—	—	(R6 に 50%)	
		実績	胃がん：44.1% 肺がん：44.6% 大腸がん：42.5% 子宮頸がん：39.1% 乳がん：42.1%	—	—	胃がん：43.0% 肺がん：44.2% 大腸がん：43.2% 子宮頸がん：38.9% 乳がん：42.8%	
		評価	—	—	—	—	
4 健康づくりチャレンジ企業登録数	社	目標	—	1,500	1,500	1,500	
		実績	1,681	1,866	2,012	2,163	
		評価	—	124.4%/A	134.1%/A	144.2%/A	

項目2 高齢者等誰もが安心して暮らせる環境整備

(1) 認知症対策の推進

事例	認知症予防・早期発見の推進
	<ul style="list-style-type: none"> 認知症予防教室をより効果的に展開するため、先進的な研究成果に基づくプログラムの活用や、客観的データを用いた効果検証・事業評価に取り組む市町に財政支援を実施(R4:5市町) 身近な相談窓口として県内市町への認知症相談センターの設置を促進(令和5年3月末現在256カ所)。同センター相談員や市町認知症支援担当者を対象に研修等の技術支援を実施(R3:2回、R4:1回) 認知症の本人に「ひょうご認知症希望大使」を委嘱し、普及啓発活動や当事者の意見を反映した認知症施策の展開等を推進



認知症相談センターパンフレット

(2) 高齢者の地域生活を支える体制の強化

事例	地域における介護予防・生活支援の取組支援
	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が安心して暮らせる地域づくりの一環として、地域における介護予防・生活支援の取組を支援。また、住民主体の取組が、県内全域で展開されるよう、関係団体による介護予防・生活支援推進会議を開催したほか、市町職員等を対象とした介護予防推進研修を実施。県内市町では、通いの場等での「いきいき百歳体操」等の取組を推進 筋力維持を図り、健康二次被害を予防するため、健康スポーツ医や理学療法士等と連携し、地域高齢者の通いの場等を活用した運動指導を実施(モデル地区:神戸市等5市町) フレイル予防の重要性を認識し、予防・改善ができる県民を増やすため、市町や関係団体と連携し、「栄養(食事改善・口腔機能維持)、運動、社会参加」の3つのポイントに焦点をあてたフレイルチェックを実施(R3:6,564名、R4:10,175名)



講演会「フレイル予防で健康寿命をのばそう」

【政策アウトカム指標】

指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 認知症相談センターの相談件数	件	目標	—	12,400	12,600	12,800
		実績	12,205	11,843	11,600	12,524
		評価	—	95.5%/B	92.1%/B	97.8%/B
2 居宅サービス利用者数	人	目標	—	—	—	R7年に419,372人
		実績	502,357	512,086	(R5.9月)	(R6.9月)
		評価	—	—	—	—
3 在宅看取り率	%	目標	—	27	28.8	29.1
		実績	28.2	30.6	33.7	(R5.10月)
		評価	—	113.3%/A	117.0%/A	—

項目3 元気高齢者の社会参加の促進

(1) 元気高齢者の社会参加の促進

事例	シニア世代の就労支援
<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいごとサポートセンター内に「働くシニア支援ステーション」を設置し、コミュニティ・ビジネスにかかる起業・就業相談や就業体験、セミナーの実施から職業紹介まで、ワンストップで高齢者の就労を支援（R4：起業件数26件、セミナー等参加者数186人） ・ひょうご・しごと情報広場に「シニア世代就労相談窓口」を設置し、就労意欲のあるシニア世代がライフスタイルや能力に合わせて活躍できるよう、就労希望者のマッチングを支援 ・介護現場への多様な人材の参入と介護人材の確保を図り、高齢者や女性等の地域住民が介護保険施設や訪問介護事業所等で、研修期間を設けて介護の周辺業務に従事する「ひょうごケア・アシスタント制度」を推進 	 <p>シニア起業セミナー</p>  <p>シニア世代就労相談</p>

(2) 定年退職後の高齢者の就業機会確保

事例	定年退職後の高齢者の就業機会確保
<ul style="list-style-type: none"> ・定年退職後等の高齢者の多様な就業機会を確保するため、県内34のシルバー人材センターを指導・育成する(公社)兵庫県シルバー人材センター協会の運営を支援 (会員数 R3:41,262人、R4：40,240人) 	 <p>兵庫県シルバー人材センター事業推進大会</p>

(3) 高齢者の生涯学習支援

事例	定年退職後の高齢者の学習機会確保
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生涯学習の場として、また地域貢献活動へ参画するきっかけとして、高齢者大学を運営（R4：受講者数2,292名） ・ICTを活用し、いなみ野学園等でのオンラインによる教養講座を開催し、著名な講師を招くなど魅力ある講座を実現するとともに、動画配信等による在宅学習の普及を推進し、休校となった場合も学びが継続できる体制を確保 	 <p>いなみ野学園講義風景</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	シルバー人材センター事業就業実人員数	人	目標	—	35,000	35,000	35,000
			実績	34,232	31,997	31,104	30,239
			評価	—	91.4%/B	88.9%/C	86.4%/C
2	コミュニティ・ビジネスの起業団体数	団体	目標	—	150	150	150
			実績	129	104	99	77
			評価	—	69.3%/D	66.0%/D	51.3%/D